

もうすぐ幼稚園生

四月は入園・入学のシーズンです。ここの「わかば幼稚園」では、新しく入園する幼児たち

の「一日入園」が三月十日行われました。お母さんに付き添われ、チョッピリ緊張ぎみの子供たちも、先生の紙芝居が始まる頃には、すっかり慣れ、先生に名前を呼ばれると元気に返事をしていました。



まぐへつ

昭和
'82 (57年)

363

●発行・幕別町役場 幕別町本町130番地 ☎(01555) 4-2111
●編集・町民課広報広聴係 ☎内線111 ●印刷・ソーゴ印刷

4

会はみんなの手で

第5回 明るいまちづくり住民大会開かれる

地域活動は一つひとつの積み重ねが大切……

今年「住みよい環境、明るいまちづくり、連帯感の深まる充実した組織づくりを進めよう」をテーマに、三月十四日札幌内福祉センターにおいて行われました。大会には百五十人が参加、事例発表や分科会に積極的な意見交換が行われました。

150人が熱心に討議



第五回「明るいまちづくり住民大会」が、三月十四日札幌内福祉センターにおいて百五十人が参加して開かれました。大会では、事例発表や分科会が行われ「住みよい地域社会はそこに住んでいる人たちの参加がなければ……」「地域連帯から明るいまちづくりをしよう」など積極的な意見が出されました。

明るいまちづくり住民大会は、「住みよい地域社会づくり」を目標に、昭和五十三年から毎年一回行われています。今年「住みよい環境、明るいまちづくり、連帯感の深まる充実した組織づくりを進めよう」をテーマに、三月十四日札幌内福祉センターにおいて行われました。大会には百五十人が参加、事例発表や分科会に積極的な意見交換が行われました。

というものです。

分科会、全体討議を通して話し合われた内容をお知らせいたしますので、当日参加できなかった皆さんも考えてみませんか。

★ゴミ問題について

①ゴミ・ステーションのゴミの散乱、空カンの投げ捨てがなくならない。どうしたらよいのだろう。
発言——婦人部活動の中で取り組み良くなった。

発言——ゴミボックスを設置したら良くなった。

発言——公区で清掃日を設けて一斉に清掃することが大切。一人ひとりに「心の美しさ」がなければ町は美しくならない。

②資源回収運動では何か。

発言——公区・子供会・婦人部が中心に取り組んでいる。資源の大切さ、物を大切にすることを資源回収運動のなかで育てることができるとは。

発言——ゴミ問題も、資源回収運動の中でゴミに対する意識を高め解決できるのでは。

★非行問題について
青少年の非行を未然に防ぐにはどうしたらよいか。

発言——家庭・地域・学校が一体となって取り組むことが大切。

発言——隣り近所仲良くすることが大切。自分の子も隣りの子も同じように注意する。

発言——家庭内の「しつけ」が大切。

発言——グループで悪いことをする例がほとんど。個人的にしかるよりグループみんなをしかる方がよい。また、道徳心の欠如も一

NHK 町村だより

4月2日

5月6日

「町村だより」の幕別町の放送は午後6時58分から59分30秒まで放送されます。ご覧ください。

春の交通安全

期間4月6日から15日まで10日間

■運動の重点

- ①歩行者、特に子供の交通事故防止
- ②自転車及びバイクの安全利用の促進
- ③安全運転の確保、特に無謀運転の防止

1人2口までOK

町民交通傷害保険

保険期間は3月まで



保険料は月額40円

★お申し込み、お問い合わせは

役場交通防災係、支所、出張所へ

住みよい地域社

つの要因である。

発言——私たちは「子供が何んでも話せる、相談できる親であるだろうか」を考えてみよう。対話が欠けている面がある。

発言——家庭教育を大切に。幼児期から甘やかさしいけない。



分科会

★交通安全について

過去何回となく話し合われているが事故は後を断たない。どうしたら良いのだろうか。

発言——モラルの問題だ。個々が安全に対する意識を高める以外にないのでは。

発言——家庭・地域で話し合う。

発言——危険な所で遊んでいる子供を見つけたら、すぐ注意をしよう。また、幼児の場合は親にも注意することが大切だ。

★新生活運動について

新生活運動を広げるためにはどうしたらよいのだろうか。

発言——価値感の多様な時代、意義は大きい意識の統一はむずかしい

発言——スタートはよいが、すぐされる。気長に、広域的、組織的に取り組むべきである。

資源回収運動が全国に紹介される……

— 緑町第二公区 —

資源回収運動は、現在、全町で十九公区が取り組んでいます。元祖と言われる「緑町第二公区」の事例が、資源とエネルギーを大切にする国民運動中央会議の発行の本に掲載され、全国で紹介されました。

これは、石油をはじめ、殆んどより全国各地から問い合わせがあり



「私たちの活動の輪が全道・全国に広がってくると私たちの活動へはげみにもなります」と山崎公区長は話しています。

発言——新生活運動を定めても有識者と言われる人たちが乱している。運動のリーダーづくりが必要。

以上、貴重な意見が出されました。また、最後に「住民大会」のあり方が論議され、行政サイドの大会ではなく、地域住民の手でつくる大会にしようとする運営委員を考えたしました。

運営委員は、伊藤一男さん（札内青葉町）高橋次郎さん（緑町）中村修さん（札内春日町）山本栄子さん（旭町）長井義実さん（札内豊町）高橋ユキさん（緑町）の六人の方です。

また、住民大会を意義あるものにするためには、①今日の参加者が核となり、地域にあった、地域で取り組める活動を実践することが大切、②婦人や青年層も積極的参加が必要、③地域づくりは人づくり、など意見が出されました。

過去四回の大会でも「小さな親切運動をしよう。ひと声運動を進めよう。空カンを捨おう」など、いろいろ呼びかけが出ています。しかし、地域への広がりを見せていないのが現実と言えます。

「住みよい地域社会はみんなの手で」つくるもの。地域活動に一人でも多くの人が参加して「住みよい町——まくべつ」をつくりたいものです。

真心を大切に！

幕別町公民館運営審議会では、よい社会生活の慣習を育て、生活の合理化、をすすめるよう「新生活運動実行細目」を定め、町民の皆さんに協力と実行を呼びかけています。

■葬儀について

①生花・花輪は最少限につとめて、供花料として

あげるようにしましょう。

②香典かえしはやめましょう。

③忌中引、法要の人数、内容について最少限にとどめましょう。

■環境の美化について

①清掃日を設定し美しい地域づくりをしましょう。

②朝のひときはき運動をすすめましょう。

幕別町公民館運営審議会

昭和57年度予算決まる

健全財政を基本に、生活に直結

した施策を積極的に推進

昭和五十七年度の町づくりに使われるお金は、一般会計・特別会計合わせて九十六億五千七百七十九万五千円と決まりました。これを五十六年度当初予算と比較しますと、一億八千五百九十一万二千円、一・九%の減となりました。五十七年度は、社会経済の停滞と国の抑制型予算の影響を受け「限られた財源の重点的配分と経費支出の効率化に徹した健全財政を基本」に予算編成が行われました。

昭和五十七年度の町づくりの方向を定める第一回定例町議会が、三月五日から十九日までの十五日間を会期に開かれました。

大石町長は「昭和五十七年度から町政を担当し、今年で八年目を迎えます。就任以来『住みよい、暖かい、豊かな町づくり』を基調に考えてきました。しかし、この七年度間に、高度成長一オイルショックそして安定成長へと国内経済も変化し、町財政も年々緊縮型へと変わっています。今年、行政経費の圧縮、節減を図り、健全財政を基本に生活に直結した施策を積極的に推進します」と町政執行方針並びに昭和五十七年度予算案を報告、提案し、議決されました。

五十七年度の国の地方財政計画により「経費全般に節減合理化を図り健全な財政運営」が強調されており、町財政も一段と厳しい状況をかえらることになります。

また、町民の皆さんの町政に対する要望も多様化し、限られた一般財源の中で、どのように応えていくか大きな課題です。

このため、町では、健全財政を基本として五十六年度スタートした新総合振興計画を柱に予算編成を行いました。新年度予算の中から皆さんの身近なことにしてお知らせいたします。

五十七年度予算は、一般会計七十一億六千二百六十六千円、特別会

計二十四億九千六百七十六万九千九百九十九円、合せて九十六億五千七百七十九万五千円と決まりました。これを五十六年度当初予算と比較しますと、一億八千五百九十一万二千円、一・九%の減となります。さらに、会計別では、一般会計が二億七千六百四十四万四千円、三・七%の減に対し、特別会計が九千四百九十九万二千円、三・八%の増となっています。

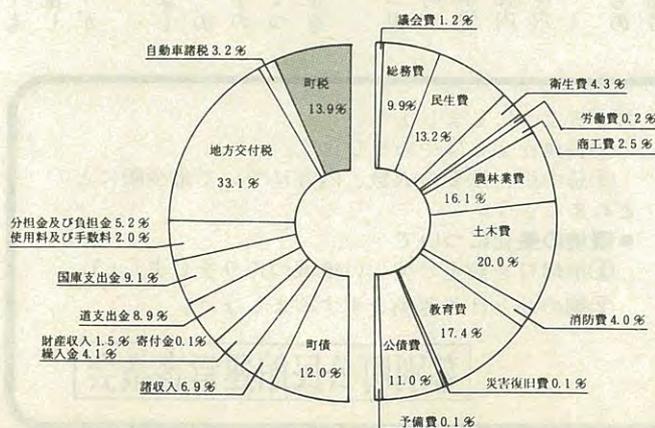
また、町財政の主要な財源である町税は、九億九千七百四十五万円を見込み、五十六年度と比較して一億四百四十三万六千円、一・一%の伸びとなります。多様化する町民の皆さんの要望を実現するためには、国や道、そ

して、皆さんが納められたお金だけでは十分ではありません。そこで国や金融機関からお金を借りる事業を行っています。そのお金を町債といい、五十七年度は、八億六千二百四十万円で、五十六年度と比較して一億一千六百二十万、一・一・九%の減となります。

表一 予算総額 (単位千円)

会計区分	昭和57年度	昭和56年度	伸率
一般会計	7,161,026	7,437,430	△3.7%
特別会計	2,496,769	2,406,277	3.8
合計	9,657,795	9,843,707	△1.9

図一 一般会計歳入・歳出構成図



① 快適で心安らぐ町づくり

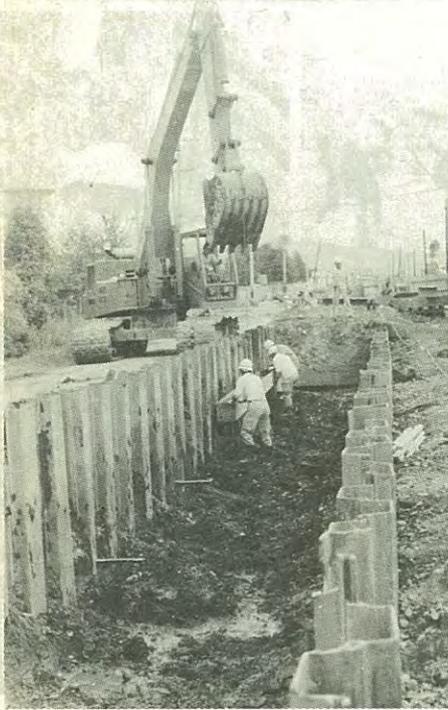
「快適で心安らぐ町づくり」では、道路網の整備をはじめ、上下水道や公園、交通安全施設など生活環境の整備を積極的に行います。

● 道路

道路は、生活と生産の両面を支えている大切なものです。町では、五十七年度も改良・舗装工事を積極的に進めます。幹線町道では、大豊北四号道路(改良)千住十一号道路(改良)途別日新線凍雪害防止工事など、十八路線六千二百九十二メートルを整備します。市街地では、曙通り街路事業など九路線二千二百七十五メートルを整備します。また、交通量の多



多様化する住民要求に こたえ住みよい町づくり を審議する町議会



▲下水道事業



町議会▶

い日新線(幕別温泉坂)に交通安全施設(歩道)を新設します。このほか、防じん処理や砂利敷き、除雪など町道の管理も積極的にまいります。

●公園 町では、豊かな自然を生かした自然公園と身近な憩いの場となる公園の造成を進めています。自然公園では、継続事業の明野が丘公園と依田公園の造成を行います。また、身近な憩いの場であり子供たちの遊び場としては止若公園と札内桂町公園の造成を行います。

●住宅 町民一人ひとりが快適な生活環境で生活できるように、町では、宅地の造成や公営住宅の建設を進めています。

五十七年度は、新緑町団地に二種三LDK二棟(四戸建)と札内町団地に二種三LDK一棟(六戸建)を建設します。

●消防 五十六年度に老朽化した消防庁舎の増改築に着手しましたが、今年度は六月完成に向け、内部工事が行われます。

●下水道 町では、幕別市街地区を公共下水道事業で、札内市街地区を十勝川流域下水道事業で整備を進めています。

五十七年度は、公共下水道事業が汚水幹線三百九十六㍎、支線三千三百㍎を埋設、前期事業の九七%が完成します。水処理棟には機械が導入されます。

また、十勝川流域下水道事業は

帯広市・音更町・芽室町と共同で事業が進められています。五十七年度に町が負担するお金は三千六百八十万円です。

②あたたかな心で包む町づくり

「あたたかな心で包む町づくり」では、地域ぐるみの助け合いを基調にみんなが生きる喜びを十分に理解できるように福祉社会の確立と健康の増進を図ります。

●福祉 福祉は、生活の保障とともに心の豊かさの充実を求めるもので相互扶助の精神が基本です。町では、五十六年度に「老人福祉センター」「働く婦人の家」を建設しました。今年度は、施設の環境整備と有効利用を積極的に進めます。

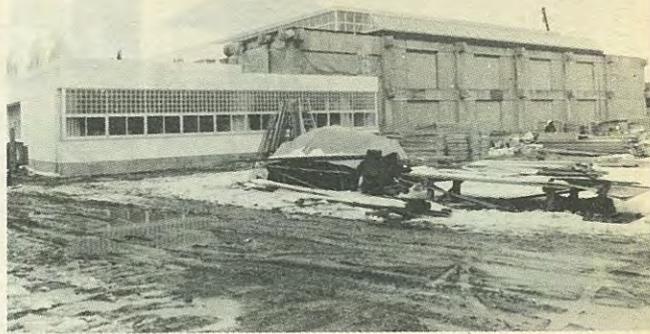
また、老人福祉バス(六十人乗り)を一台購入します。

●保健 私たちが明るく幸せな毎日を過すには心身ともに健康であることです。町では、町内の開業医のみなさんの協力を得ながら「町民健康センター」を中心とする保健活動を通じて、町民の皆さんの健康管理と疾病の予防に最善をつくします。

また、休日と夜間の医療体制はことしも町内の開業医の皆さんの協力をいただき万全を期します。

③豊かさ活力ある町づくり

「豊かさ活力のある町づくり」



盛んなスケート

新しいスポーツ、オリエンテーリング

では、高生産農業を中心に、林業商業など産業の振興を進めます。

● 農林業

町の基幹産業である農業を取り巻く社会情勢は、昨年引き続き停滞する社会経済の影響を受け農畜産物の価格の不安定など厳しい状況にあります。このため、町では土地基盤の整備や農村生活環境の整備を進め、安定した魅力ある農業経営の確立を目指します。

五十七年度は、農村総合整備モデル事業（集落道八百四十四区）地域農業生産総合振興対策、畜産総合対策事業などが行われます。このほか、農業整備では、相川北（二十号）農道整備事業など、路線三千三百二十区を整備します。

国営・道営事業は次のとおり。（国営事業）

茂登谷地区直轄明渠排水事業、古舞地区農地開発事業など五事業が行われ、道路二千三百区、明渠排水路四千二百区、雑用水配水池浄水場、送水管の配置、農地造成百五十区が整備されます。

また、幕別地区畑地かんがい排水事業が来年度スタートしますが五十七年度は全体計画を行います。

（道営事業）

南勢地区畑地帯総合土地改良事業、西棟内二期農免農道整備事業など十事業が行われ、道路六千七百区、明渠排水路六千四百区、暗渠排水二百五十区、区画整備五十区が整備されます。

また、五十六年度事業がスタートした十勝中央地区広域営農団地農道整備事業は、音更町と幕別町にかかる中央橋の下部工事が行わ

● 商工業

商工業は町の経済活動のなかで重要な役割をもっています。町では、商店街診断結果を経営の改善と合理化に役立てていただき、魅力ある商店街づくりを推進するとともに、中小企業融資利子補給や商工会活動の援助も行います。

また、町観光の中心となる国民宿舎幕別温泉ホテルの浴室改築を行います。

④ 教育の輪を広げる町づくり

「教育の輪を広げる町づくり」では、創造性豊かな人材の育成と北方文化の振興を図るため、教育環境の整備充実と生涯教育体系を確立するとともに、社会教育、体育活動の輪を広げていきます。

● 学校教育

五十五年度から進められていた新しい教育課程が、小中学校共に完全実施となり「人間性豊かな児童・生徒を育てる」ことを最大の柱とする学校教育の新しい歩みが始まりました。

表一 2 特別会計別予算額 (単位千円)

会計区分	昭和57年度	昭和56年度	伸率
総額	2,496,769	2,406,277	3.8%
国民健康保険会計	912,700	918,418	△ 0.6
簡易水道会計	22,332	16,405	36.1
駒島営農用水会計	2,625	2,373	10.6
飲料水供給施設会計	6,754	8,043	△ 16.0
公共下水道会計	715,124	707,993	1.0
土地区画整理事業会計	209,479	224,668	△ 6.9
国民宿舎事業会計	365,844	278,236	31.5
上水道会計	261,911	250,141	4.7

五十七年度も新しい教育課程に基づき、自然や社会に対する正しい認識を深め豊かな情操を養うとともに身体を鍛え、広い視野に立つて自らの手で未来をきり開いていく力を育てる教育を推進します。

事業では、五十七年度も校舎の建設に重点がおかれ、白人小学校の二期工事（校舎部分）、老朽化の著しい途別小学校の増築工事人口増加の著しい札内北小学校の校舎の増築工事を行います。

このほか、教育環境の整備、充実は積極的に進みます。

● 社会教育

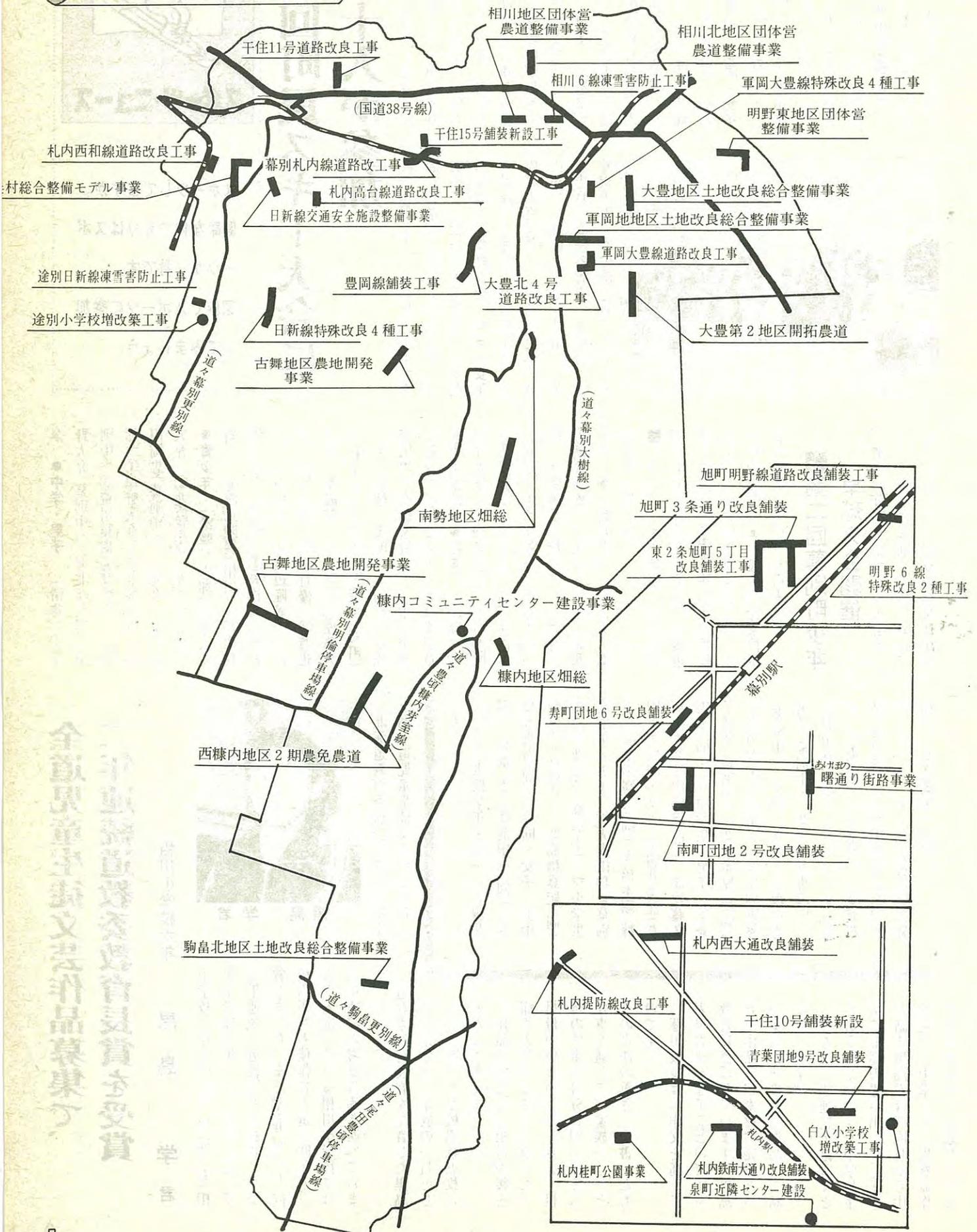
社会教育の目標は「一人ひとりの心の結びつきから豊かな地域社会づくり」です。町では、幼児から高齢者に至るまで積極的に、各種社会教育活動を進めてきました。

五十七年度は、昨年策定した社会教育中期計画の重点である次の三点を積極的に進めます。

- ① 住民の自主的な活動を促進する社会教育の推進
 - ② スポーツの生活化を促進する社会体育の推進
 - ③ 文化財を継承し、心を豊かにする文化活動の推進
- 社会教育は、町民の皆さんが満足できる学習の場を用意しても、皆さんの参加がなければ無意味なものとなります。皆さんの積極的な参加を期待します。

ことし行われる主な事業

町づくり地図





スポーツ・ニュース

スポーツしてますか。
健康な体づくりはスポーツが一番です。
家族でスポーツに参加してきましょう。

第三回町民スキー大会に 百三十人が参加

第三回幕別町民スキー大会が、三月七日幕別町営スキー場（明野が丘）に百三十人が参加して開かれました。競技は、滑降・回転・ジャンプの三種目で、滑降と回転の合計タイムで総合順位が出されます。競技の結果は次のとおり。

●小学生低学年・男子〔滑降〕
①酒井修司（札内 小）②山口和則（札内 小）③山田貴教（糠内小）〔回転〕①高橋秀行（幕別小）②山田貴教（糠内小）③小仲秀知（糠内小）〔総合〕①高橋秀行 ②山田貴教 ③小仲秀知 ●同・女子〔滑降〕①志田あすか（糠内小）②山田恵子（糠内小）③八太祐佳（糠内小）〔回転〕①志田あすか ②佐藤美香（白人小）③山田恵子〔総合〕①志田あすか ②佐藤美香 ③山田恵子 ●小学生高学年・男子〔滑降〕①木藤真志（幕別小）②近藤慎哉（幕別小）③前川



俊浩（幕別小）〔回転〕①木藤真志 ②前川俊浩 ③岸野克徳（幕別小）〔総合〕①木藤真志 ②前川俊浩 ③岸野克徳 ●同・女子〔滑降〕①井沢千春（幕別小）②佐藤志真（幕別小）③渋谷香奈（糠内小）〔回転〕①井沢千春 ②佐藤志真 ③渋谷香奈 〔総合〕①井沢千春 ②佐藤志真 ③渋谷香奈

奈 ●中学・男子〔滑降〕①岸野大介（幕別中）②北原正喜（幕別中）③荒川裕樹（幕別中）〔回転〕①岸野大介 ②北原正喜 ③田岡忠（幕別中）〔総合〕①岸野大介 ②北原正喜 ③田岡忠 ●青少年〔滑降〕①部田晃司（寿町）②渡辺隆義（相川）③中村優寿町〔回転〕①矢竹尚（相川）②中村優 ③渡辺隆義 〔総合〕①矢竹尚 ②中村優 ③渡辺隆義 ●成年〔滑降〕①佐藤久男（札内中央町）②藤家博章（緑町）③中川泰徳（宝町）〔回転〕①佐藤久男 ②藤家博章 ③中川泰徳 〔総合〕①佐藤久男 ②藤家博章 ③中川泰徳 ●壮年〔滑降〕①酒井義雄（札内青葉町）②白木隆（札内稔町）③九本征一郎（依田）〔回転〕①酒井義雄 ②九本征一郎 ③関善治（糠内）〔総合〕①酒井義雄 ②九本征一郎 ③関善治 ●一般女子〔総合〕①桑井法子（旭町）

第二回幕別町少年卓球大会開催

第二回幕別町少年卓球大会が、二月二十七日幕別小学校において開かれました。競技の結果は次の

■ジャンプ ●小学生 ①太田裕二（白人小）②酒井将博（同）③渡辺薫礼（内南小）●中学生 ①土谷博樹（札内中）②北原正喜（幕別中）③川村武（同）●一般 ①藤家博章 ②土谷勇（依田） ③白木隆

全道児童生徒文芸作品募集で、 二年連続道教委教育長賞を受賞



黒島 学 君

北海道教育委員会主催の「第三回全道児童生徒文芸作品募集」とおり。

小学校・作文の部で、黒島学君（相川小学校六年）が、昨年に続いて二年連続「道教委教育長賞」を受賞しました。また、中井雅幸君（同校六年）も佳作に入選。昨年も三人が入選している相川小学校では二年連続の喜びに沸き返っています。

道教委教育長賞を受賞した黒島君の作品は「家族の一員として」と題した原稿用紙五枚にわたる大作です。

作品の内容は「祖母が腰を痛め入院することになった。祖母がいなさみじきと、祖母の仕事が自分に回ってきて、仕事を通して、家族一人ひとりの責任の重さ」を書いたものです。

藤田校長は「作文を通して表現力豊かな子（心）の育成を教育目標にしています。黒島君の作品は、素材の発見といふ本心に味のある作品」と話しています。

また「二年連続入選してとてもうれしいです。小学校生活で最高の思い出になります」と話す黒島君は、四月から中学生。「中学でも一生懸命作文を書きます」と話しています。

農業は、やりがいのある仕事

夫を信頼して結婚した

農村花嫁アンケート調査から

「農家に嫁ぐ決意は夫を信頼したから」「農業はやりがいのある仕事」と農家に嫁いだ花嫁さんが考えていることがわかりました。

これは、町内の農業後継者に嫁いだ花嫁さんを対象に、「農村花嫁の集い」を二月二十四日幕別温泉ホテルで開催した際、実施したアンケート調査でわかったものです。

この日は、昭和五十五年・五十六年に結婚された三十五人のうち十四人が参加、大石町長と「農業の良さ」などについて座談会を行い、楽しい一日を過ごしました。

アンケートの内容は、「結婚」と「結婚後の生活」に絞られ、農業に対する考え方が調査されています。

①結婚したときの年齢は、十八

才から二十五才までまちまちで、結婚の形態は「恋愛結婚」が十人、「見合結婚」が四人です。

②出身地別では「帯広市」が六人、「町内」が五人、「十勝管内」が三人となっています。

③結婚前の職業は「会社員」が六人、「農協職員」が二人で、「農業経験者」は一人となっています。

④結婚前の農業に対するイメージは「労働がきつくてつらい仕事」と思っていたが七人と最も多く、「自分の意志能力で自由に経営ができ将来性がある」が四人となっています。

⑤結婚を決意した理由では「夫を信頼した」が六人と最も多く、「一生懸命やればできる」が四人、「家庭が良い人ばかり」が二人の順です。

以上「結婚」について考えてみま

すと、農業に対しては期待感と不安感が半々ですが、結婚への決意は、「夫への信頼」が最も多く、男性の農業への誇りと主体性が相手の心をつかんだと言えます。

■結婚後の生活観

①「自由時間」と「寝る時間」はど



▶町長と座談会

のくらいかでは、自由時間が夏、多い人で四時間ですがほとんどな

②家計費は誰が持っていますかでは、十三人が「親が持っている」と答えています。

③親との同居では、十三人が同居しており、そのうち、六人が別居を希望しています。

④一カ月の小遣いは三万円から五万円を望み、十人の人が必要を

⑤男女の交流では、スポーツ・レクリエーションやサークル活動が大切と答えています。

⑥花嫁を迎えるときの配慮として、「若夫婦の個室の確保」「農休日

⑦農村生活の良い点では「自分たちの努力によってその成果を自分

以上の結果から、農業の機械化が進み農業は重労働ではなくな

また、親たちは、若夫婦だけの部屋と時間をつくるよう心がけるこ

とが大切だと思います。



田村 真澄さん
(中里・二十二歳)

農業に自信と誇りを...

友だちの紹介で知り合い、昭和55年8月に結婚しました。結婚前は、帯広に住んでいて会社に勤めていたので、農業をやっているか不安でした。

新聞などで、農業のことをあれこれ紹介していますが、現実とは違うようですね。たとえば、「農業は時間が自由」と言われますが、夏は、朝早くから夜遅くまで働き、けして自由とは思えません。かえって、天候と時間に追われているという感じがします。また、逆に会社勤めですと人間関係に圧迫されいやな面がありますが、農業は家族で仕事するので精神的に楽ですね。太陽の下で仕事をするので健康に良いのでは。冬は仕事がないので、夫婦でスキーを楽しんでいます。

私が、主人と結婚を決意したのは、彼の農業へ対する誇りと情熱、そして、まじめで、信頼してついていけると思ったからです。

「農村花嫁」と言われますが、女性にとって結婚は、サラリーマンも農家もそんなに考えません。相手の人が、仕事に対してやる気があるか、信頼してついていけるかどうかだと思います。

農業は魅力のある仕事、二人で一生懸命やっています。

心臓病

心臓は全身へ休みなく血液を送り出すポンプの働きをしています。心臓は、筋肉でできていて、その根元を走っている冠状動脈で養われています。

この冠状動脈の壁に動脈硬化が起って、通り道が狭くなると心臓の筋肉に十分酸素が行きわたらなくなり、狭心症や心筋硬塞のような発作が起ります。

心臓の病気のときは、息切れ、どろろき、脈の乱れ、上半身のむくみ、胸の痛み、又はしめつけられるような感じがしたり、チアノーゼ（くちびるが紫色になる）などの症状があります。もしこのような症状になったら、心電図やレントゲンなどで検査を受ける必要があります。

狭心症は、ほとんどが運動をしたときに発作的に起ります。ときには就寝中や何もしていないときに起ることもあります。発作は、胸中央部のしめつけられるような感じがあり、軽度な場合は、安静にしていれば治ります。

心筋硬塞は、心臓を養っている冠状動脈が突然ふさがり、心臓の筋肉が死んでしまうために起ります。症状は、胸を刺すような痛み、冷汗、吐き気、血圧が下り発作は長時間続きます。

発作は、高血圧、動脈硬化という土台の上に、何かのきっかけが起ります。そのきっかけは ①心配ごとや興奮 ②急激な温度の変化 ③睡眠不足や過労 ④急激な運動 ⑤喫煙量などが考えられます。

日常生活、食生活に注意をし、何かの症状が感じられたら早めに医師の診察を受けましょう。

春に、一筋農酪

小島行雄さん 福家康芳さん 日野安広さんが表彰される



左から福家さん、小島さん、日野さん夫妻

賞（種雌牛の部）を受賞

努力します」とあいさつしました。

福家さんは、五十五年最高記録（乳量一万五千九百二十二キログラム・三百五日検定）を出し、また、五十六年には、乳脂量日本最高記録（乳量一万二千七百三十五キログラム、乳脂率五・〇％）を出し、この実績が認められ、家畜改良事業団主催昭和五十六年度家畜改良貢献

三人のそれぞれの功績をたたえ、祝賀会が三月九日、町民会館において開かれました。祝賀会で、大石町長が「三人の受賞は幕別酪農の高い水準を示すものです。これからもがんばってください」とお祝いの言葉を述べました。また、これに対して、小島さんらが「町内の皆さんのおかげで受賞できました。酪農を取り巻く社会情勢は大変厳しい。これからも一生懸命

酪農一筋に生きていて、小島行雄さん（新和・新田牧場長）福家康芳さん（南勢・農業）日野安広さん（大豊・農業）の三人が、日頃の実績が認められ表彰されました。小島さんは、昭和二十年、新田牧場に入ってから同牧場の銘牛「ミ

ドリ」を基に乳牛改良や種畜繁殖に努力され、優秀な乳牛を数多く生産した功績が認められ、宇都宮賞を受賞しました。宇都宮賞は、日本酪農の先覚指導者、故宇都宮仙太郎氏を記念して、道内の酪農功績者に贈られているもので、且本酪農界で最も栄誉ある賞です。幕別町からは初めて

また、日野さんは、五十六年に乳牛二才型で乳脂量日本最高記録（乳量九千七百八十九キログラム、乳脂率五・四％、三百六十五日検定、また、乳量八千四百二十六キログラム、乳脂率四・六％、三百五日検定）を出し、ホルスタイン農協主催能力検定優秀牛乳脂量日本最高記録牛表彰を受けました。

野犬掃討実施中!

- 犬の放し飼いはやめましょう。放し飼いは処分します
- 犬を飼う場合は、必ず、2m以内のクサリでつなぐか、オリに入れて飼いましょう
- 畜犬登録や予防注射をしない飼い犬は罰せられます

開設十周年を祝う

母と子の家



行われた演芸大会

相川北公区（脇坂正男公区長）では、母と子の家（現相川北近隣センター）の開設十周年を祝い、公区の皆さん百五十人が参加して、三月七日記念式典を行いました。

春

そして

旅立ち



町心身障害児教育振興会が、ことし町内の小中学校を卒業する心身障害児をほげます会を幕別パークホテルにおいて開きました。また、この席上、町ライオンズクラブから、同振興会へ七万円の寄付と、卒業生に記念品が手渡されました。



「ふるさと館」で生まれ、相川小学校の水槽で育っていたサケの稚魚が、三月二十四日生徒たちの手で旧途別川へ旅立ちました。



三月二十四日、町内二斉に小学校の卒業式が行われましたが、ここ新和小学校では、大西孝子ちゃん一人が十人の在校生に見送られ、卒業しました。

旧途別川に翼を休めていた白鳥が、春のおとずれとともに北へ旅立ちました。



寄付者のお名前

■町社会福祉協議会へ……
▽幕別町ソシアルダンス愛好会から三万円
▽小野寺保さん(寿



大石町長に手渡す小島さん

小島行雄さん(新和)から、宇都宮賞の受賞を記念して、町畜産振興に役立ててほしいと三十万円の寄付がありました。

小島さんから三十万円の寄付

町)から母が生前お世話になりましたと十万円
▽匿名の方から千円二回
■老人クラブへ……
▽青木栄次郎さん(札内新北町)から札内老人クラブへ二万円
▽小野寺保さん(寿町)から幕別老人クラブへ十万円
▽橋本彌信さん(五位)から糠内老人クラブへ五万円
▽国枝孝吉さん(中里)から糠内老人クラブへ五万円
▽末吉チエさん(西猿別)から西猿別老人クラブへ一万円
▽久保義幸さん(札内若草町)から鉄南老人クラブへ一万円
▽半沢巖さん(札内春日町)から札内老人クラブへ一万円

十勝博

北方圏農林博覧会

■ところ/北海道帯広市 旧帯広空港跡地

'82 7/17(五) - 9/5(日) 51日間

■主催 帯広市 帯広商工会議所 十勝毎日新聞社

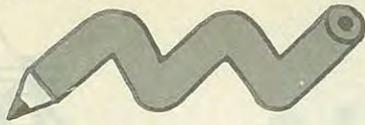
■後援 北海道ほか

■前売券あります■

「こんにちは、緑の21世紀」と題して、十勝博、が開かれます。その前売券を次の所で

あつかっております。役場一開発商工課、札内支所、糠内駒畠各出張所、幕別農協一管理部、各支所窓口、札内農協一管理課、あかしや店舗、途別支所窓口

スタッフ募集 [郷土中の調査と研究、2名]



仲間に入りませんか?

はじめは誰でも
シロウト

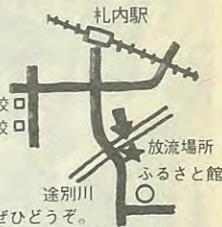
お問い合わせはふるさと館へ



GOOD-LUCK SALMON

4月11日(日)・午前11時から

ふるさと館のサケ
1万匹放流



あなたの手で
サケを海へ

日曜日です。ご家族つれでぜひどうぞ。

モン通信 ⑮ 子供たちが育てた サケ、海へ旅出つ

町内四つの小中学校で昨年十一月から飼育していたサケが、約四か月間育ててきた子供たちの手で放流されました。

幕別中学校は三月十日に卒業生が、二十四日には在校生の手でそれぞれ放流し、千匹の稚魚たちは早春の猿別川へ力いっぱい泳ぎ出しました。水温はまだ三度くらいしかなく、学校の水槽(一〇度)との温度差をやらげられるために川の冷たい水を少しずつ足しながら、稚魚を冷たい水に慣らしてから放流させました。

一方、相川小学校では小さな水槽を小さな腫が見守っていました。末次先生と子供たちが力を合わせとても上手に飼育が続けました。中井雅之君(六年)が観察日記を担当し、小さな生命の誕生から放流までのようすが細かく記録されています。

放流は二十四日近くの旧途別川の白鳥飛来地から行われました。この日は相川小学校の卒業式とあつて、子供たちとサケ、そして

うすぐ北へ向かう白鳥の、三つの旅立ちが重なりました。二百匹の



元気でね!幕別中学校卒業生の放流

稚魚は子供たちの声援を背に、ゆつくりと川を下っていきました。札内南小学校と札内中学校は四月になってから放流するそうです。今年の秋に産まれる卵をさらに多くの学校で飼育・観察してもらえたら……と夢は広がります。

イロリが できました



第六回特別展「北の民族・アイヌのくらし」を開催中です。十八日、特別展会場の中央にいろりができました。安東軍次郎さん(千住)らが作ってくれたもので、スニと呼ばれる炉かき(百年くらい前のもの)が下げられています。イナウを飾って火の神に特別展の成功を祈ってくださいました。

ありがとう

音響装置プレゼント

スタッフの吉田賢治さん(綿町)が、効果音用のB・G・Mボックスを作ってくれました(写真・下)今、特別展会場でムックリとウボボが聞けます。



第25回 幕別 ものたり

綿を細長くまるめたような猫柳の芽が春風にかすかに揺れる朝、柔らかな春の陽ざしは少年のあどけない顔にまともに当たり、じつりと浮かんだ額の汗がきらきらと輝いている。少年の防寒靴には、すでに泥水がねっとり入り込んできている。

通学の大敵、大水とぬかるみ

思い出の学校① 美川小学校

明治三十七年五月に地域の強い願いから創立されたこの学校は、下似平協同塾・糠内尋常小学校下似平簡易教育所・下似平尋常小学校・下似平国民学校・美川国民学校・美川小学校と名称を変え、昭和五十五年三月にその使命を終え糠内小学校へ統合となった。
(文・小助川勝義)

おわび

先月号で四月から丸木舟の製作を始めるとお知らせしましたが原木が特別注文のため間にあわなくなりました。来年一月から延期します。ごめんなさい。